

## へんすべえ



【本号の表紙】  
10月25日に鶴ヶ城体育館で開催された「環境フェスティバル」の様子

## 特集

ごみ減量と節約のコツ!  
~生ごみを減量すれば、ごみ袋の削減に大きな効果~SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

## 環境フェスティバルが開催されました

第33回環境フェスティバルが、10月25日(土)鶴ヶ城体育館で開催され、さまざまなごみ減量につながる取組が紹介されました。この様子は、インスタグラムなどでお知らせしています。



「取り扱えっこ広場」では、自宅にあった子ども服と出品された服の交換が行われました。



「もったいない本のリレー」では、多くの方々が自分の読みたい本を持ち帰りました。



市長会をはじめ、さまざまな団体のチャリティバザーが行われ、資源のリユースにつながりました。



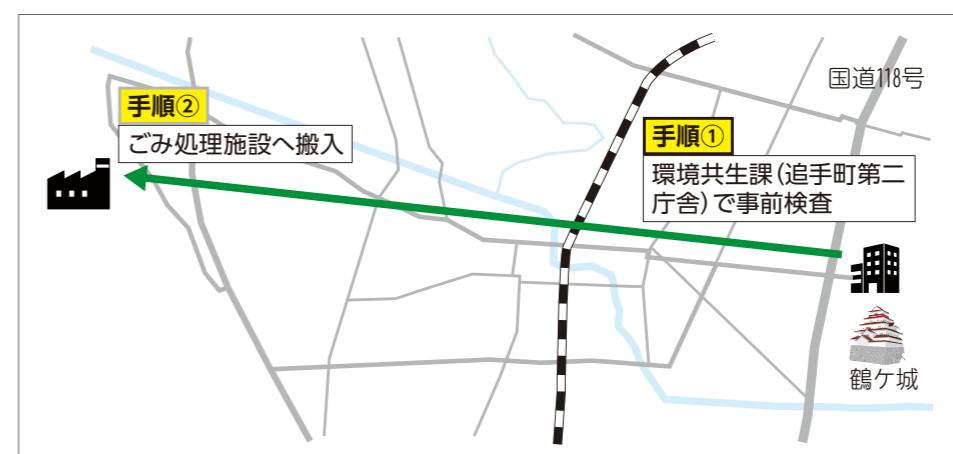
生ごみ処理容器「キエーロ」の展示・販売予約のコーナーには多くの市民の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました!  
当日の様子は、二次元コードから確認してみよう!



## 環境共生課の執務室が移転し、家庭ごみの直接搬入方法が変更になりました

新たなごみ処理施設の整備に伴い、11月10日(月)から、環境共生課の執務室が移転しました。家庭から出る一時多量ごみをごみ処理施設へ持ち込む場合は、環境共生課の事前検査が必要です。事前検査は、庁舎正面の検査スペースで行います。ごみ処理施設へ行く前に、必ず環境共生課へお越しください。

- ▶移転後…市役所追手町第二庁舎1階
- ▶その他…電話・ファックス番号は変わりません



▶環境共生課の検査時間  
午前8時30分～正午、  
午後1時～4時



▶ごみ処理施設の稼働時間  
午前8時30分～正午、  
午後1時～4時30分

【編集・発行】 会津若松市 市民部 環境共生課

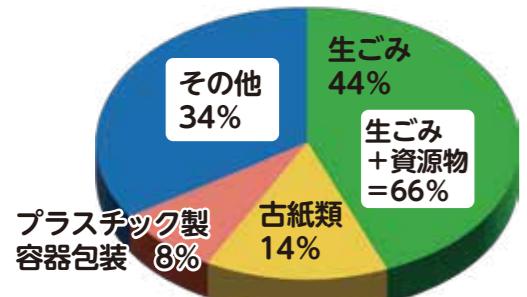
〒965-0873 会津若松市追手町2番41号  
電話0242-27-3961 FAX0242-29-1618 Eメール kankyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp  
URL:https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/

## 特集

# ごみ減量と節約のコツ!

## ~生ごみを減量すれば、ごみ袋の削減に大きな効果~

## 生ごみと資源物を減らすと、ごみ袋が6割削減!



生ごみや資源物を家庭で減量・分別すると、ごみ袋の使用枚数が大きく削減され、家庭ごみ処理有料化による指定ごみ袋の代金も大きく抑えることができます。

特に、生ごみは、燃やせるごみの半分程度を占めることから、生ごみの減量化は家庭の負担軽減に大きく役立ちます。

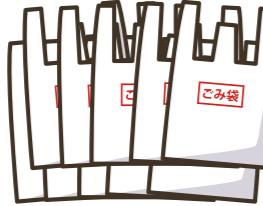
生ごみ減量化の方法は、キエ一口やコンポストをはじめ、電動式生ごみ処理機など様々な方法がありますので、ご家庭に合った方法で減量に取り組みましょう。

「令和6年度生活系燃やせるごみの組成分析(湿ベース)」より

◆本市の標準世帯(2.3人)の有料化後の指定ごみ袋負担額試算  
**1ヶ月あたり470円**(※1)

「家庭ごみ処理有料化実施方針」より

生ごみや資源物を家庭で処理すると、ごみ袋の使用枚数が大きく削減されるよ!



生ごみと資源物をすべて減量すると

◆1ヶ月あたり184円(※2)  
なんと60%減!

枚数減



※2 [減量後]

○可燃134kg(394kg×▲66%) + 不燃30kg  
= 164kg  
164kg=55枚/20ℓ袋  
55枚/年×40円/20ℓ÷12月=184円/月

## 私たちも生ごみ減量に取り組んでいます!



市のキエ一口学習会への参加をきっかけに、プランターでキエ一口を始めました! 生ごみが減ってとても役立っています!



今年の夏から家族でキエ一口を始めました。時々できない時もあるけど、生ごみが消えていくのはとてもうれしいのでこれからも続けていくよ!



電動式生ごみ処理機は室内で生ごみを減らせてとても便利で、ごみ袋の枚数も半分になりました! 寒い冬場のごみ捨ても回数が減って大助かり!

市職員が試してみました!

## ~生ごみ処理容器でごみ減量~

◆資源物の分別と併せて、生ごみ処理容器を利用して生ごみ減量に取り組みました。

◆大人2人家族での燃やせるごみ袋負担額  
**1ヶ月あたり87円**(※3)



※3 [実践結果]  
○大人2人家族で、可燃ごみ袋10ℓ1枚/週  
年間52週×20円/10ℓ袋÷12月=87円  
○大人4人家族で、可燃ごみ袋20ℓ1枚/週  
年間52週×40円/20ℓ袋÷12月=174円

## 「3切り」やキエ一口などで生ごみ減量

生ごみの減量は、食材の使い切り、食べ切り、生ごみの水切りの「3切り」が大切です。食材の買い過ぎや食べ残し、生ごみの水分が残らないよう気を付けましょう。

また、発生した生ごみはキエ一口などで分解しましょう。キエ一口は、土に穴を掘って、生ごみを入れて土と混ぜ込むだけで生ごみが消えます。冬場は夏場に比べて分解速度が低下しますので、日当たりの良い暖かい場所に置いたり、生ごみをより細かくすることで、微生物の活動を助けることができます。



使い切り!  
食べ切り!



キエ一口の  
使い方を  
チェックしよう!

## 冬季間は電動式生ごみ処理機が大活躍!

電動式生ごみ処理機は、電気の力で生ごみを処理する家電製品です。乾燥や微生物による分解によって、生ごみを減量したり、堆肥化したりします。

小型で場所をとらないため、台所など室内でも使って、冬場は特に大活躍です。市内の家電量販店やインターネット経由などで購入できます。詳しくは環境共生課までお問い合わせください。

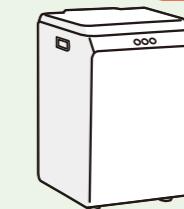
## 電動式生ごみ処理機(乾燥式)



## 特徴

生ごみを温風で加熱し、乾燥させることで重さや体積を小さくするタイプ  
・コンパクトで室内に置ける  
・数時間で処理が完了  
・冬も使える  
・少人数の家庭向き  
・電気代がかかる  
・食べ残しなど水分が多いものが苦手  
・ごみ捨てが必要

## 電動式生ごみ処理機(ハイブリッド型)



## 特徴

生ごみを乾燥させるのと同時に、微生物の力で分解させるタイプ  
・生ごみ処理してできた堆肥は家庭菜園などで使える  
・冬も使える  
・電気代がかかる  
・購入費が高額なものもある  
・堆肥の処理が必要

今年度  
拡充中!

## 生ごみ減量の補助金をぜひご活用ください

市では、令和7年4月から、家庭用生ごみ処理機(電動式等)や家庭用生ごみ処理容器(キエ一口、コンポスト等)などの購入を支援するごみ減量化事業補助金を拡充しています。

生ごみ処理機等を使って生ごみを減らせば、ごみ袋代金の負担軽減にもつながります。

今年度は、補助金申請が多かったため、9月補正予算で増額しました。ぜひ支援制度をご活用ください。

品名		令和7年3月まで	4月以降
①家庭用生ごみ処理機 (電動式・手動式生ごみ処理機など)		補助率1/4 → 補助率1/2	
		上限10,000円 → 上限20,000円	
②家庭用生ごみ処理容器 (キエ一口、コンポストなど)	子育て世帯枠	補助率2/3	
	一般枠	補助率1/2	
		上限4,000円 → 上限24,000円	
		上限3,000円 → 上限18,000円	



補助金を活用して  
生ごみを減らそう!  
必ず購入前に  
申請してね。



ごみ収集車くん

※補助を受けるには購入前に見積書を添付し申請する必要があります。予算の範囲内の交付となりますので、お早めに申請をお願いします。ご不明な点は環境共生課までお問い合わせください。

(事例1)電動式生ごみ処理機1基(税込み24,200円)を購入の場合は、補助率1/2で、補助金が上12,100円となり、実際の負担額は、半額分の12,100円となります。

(事例2)キエ一口1基(税込み25,000円)を子育て世帯が購入の場合は、補助率2/3で、補助金が16,600円となり、実際の負担額は8,400円となります。